

鎌倉古道の緑地散策ハイキング

集合日時：平成 23 年 6 月 21 日（火）9:45 am
集合場所：京王電鉄山田駅改札口前
コース：山田駅前から京王バスに乗り上大船下車、
七国峠から相原中央公園へ、昼食後上大船バス
停に戻る 歩行距離約 6km、歩行時間約 4 時間。
備考：参加費無料、事前申込み不要。雨天中止。
主催：長寿社会を考える会 生涯学習部
問合せ：042-665-2334（高橋）

新スタッフ紹介

<平成 23 年度役員>

<退任>

<編集後記> 前号の印刷中に大震災が起きました。あれから 3 ヶ月、さまざまなことが大きく変わりましたが、元気よく活動を継続したいと願っています。

特定非営利活動法人
長寿社会を考える会

〒193-0933 東京都八王子市山田町 1606-12 センティ富士森内
Tel (042) 665-2334 Fax (042) 665-2345 <http://www6.ocn.ne.jp/~chouju/>

平成 23 年度第 1 回

簡単な季節の料理教室 を開催

日時：平成 23 年 6 月 6 日（月）10:30~13:00
場所：東浅川保健福祉センター調理室
講師：中野勝子先生
献立：鮭とごぼうの合わせバーグ、豆腐の梅風味
焼き、レタスのスープ、簡単ういろう
参加者の感想：どれも簡単でヘルシーでした。



地域とヘルパー対象の研修会開催

『緊急時対応と AED の使い方』

日時：平成 23 年 5 月 25 日（水）13:30~15:00
場所：センティ富士森 多目的ホール
講師：八王子消防署富士森出張所署員
参加者：ヘルパー14名、センティ入居者13名
緊急時の救命処置、胸骨圧迫を各自体験し、AED
の使い方の説明をうけました。質問に答えて『救急
車を呼ぶべきか迷った時は→#7119に電話』と
のアドバイスがありました。



特定非営利活動法人

長寿社会を考える会



平成 23 年 6 月 15 日
第 12 号

第 24 回 定期総会を開催しました

長寿社会を考える会 第 24 回
定期総会が 5 月 21 日（土）午後
2 時から、センティ富士森の多
目的ホールで開催されました。
平成 22 年度の活動報告、会計報
告および監査報告に続き、役員
改選、平成 23 年度の活動の基本
方針、各部の活動計画、予算案
などの審議が行われ、いずれも
原案通り承認されました。



総会風景（出席 23 名、委任状 32 名、会員数 60 名の過半数で成立）

平成 23 年度 活動の基本方針

昨年度の基本方針である①補助金依存体質から
脱却し自主運営体制を確立すること及び②財政面
での独立性を確保するためにも必要な事業の多角
化の 2 点は中長期的な観点からも重要ですので、今
年度も含めて当面の大方針として維持してゆく必要
があると考えます。しかしながら、ここ数年、特
に昨年度は事業活動が停滞乃至は下降気味で、特に
介護関係の事業すなわち、まごころケア、ケアサー
ビス、及びケアプランにこの傾向が顕著です。従っ
て、これからの数年は上記事業に食事サービスと管
理人業務を加えた現在の 5 事業の拡充強化により
多くの時間と経営資源を集中することとしたいと
考えています。

勿論新規事業の開拓も必要ですが、ここ数年は既
存の事業の整備、拡充を最重点、最優先課題とし、
併せて先輩方の長年の努力によって築かれた”長寿
社会を考える会”の知名度の維持向上、会員数の増
加および事業に必要な人材の確保に努めてゆく所
存です。

この機会にもう一点付け加えさせていただきます。
東日本大震災では多くの NPO 法人が種々の
活動を通して被災地及び被災された方々に支援の手
を差し伸べ、感謝と評価を得ていることはご存知の通
りです。一方、関東、中部地方の太平洋沿岸に東日本
大震災乃至はそれ以上に大きな地震が遠くない将来
あると報じられています。八王子市が大きな災害に見
舞われることは十分に考えられます。津波の直接の被
害は無いにしても、想定される大きな自然災害時に当
会として何が出来るのか、又何をすべきなのかを、わ
れわれ一人一人が考え、心の準備をしておくと共に、
より具体的な、例えば、水、食糧、基礎的な医薬品な
どの資機材とそれらの購入及び支援活動に必要な資
金の準備について、今すぐにでも検討し、その準備に
手を着けて行かなければなりません。特に本件は会員
の皆様英知を集めて取り組まなければ出来ない大き
な課題です。5 事業の整備拡充強化と同様、皆様方
のご支援ご協力を切にお願いいたします。

（理事長 高橋 昭）

みんなでこの1年 がんばりました

第24回定期総会
平成22年度活動報告より

事務局 ○マニュアルの見直しと業務の一層の効率化、経理のシステム化をさらに進めました。○各事業部と連携を取りながら、外部団体の情報が取り入れられるよう心がけ、ホームページ、お便りおよびチラシを使っ
ての広報活動を充実しました。

生涯学習部 ○会の活動の拡充強化を図るため、毎月1回開催を目標として「企画検討会」を立ち上げ、会員および会員外から幅広い人材に参加をお願いして情報交換、意見交換を行い、新規事業を発掘し、可能な案件を実施に結び付けるべく活動しました。○60歳以上の男性を対象として平成21年度から開催している料理教室を、今年度から女性も参加していただくこととし、9月、12月、3月の3回開催しました。出席者は延べ39名でした。○ヘルパー研修「傾聴入門講座」および講演会「高齢者の消費生活トラブル 早期発見のために」を開催しました。

有償介護・家事援助サービス部（まごころケア八王子） ○利用者の方に対して、質の高いケアに努めてきましたが、残念ながら活動時間は前年度を下回りました。今後は一から見つけなおし、新たな気持ちで少しでも目標に近づけて行きたいと思えます。
<活動実績> 年間活動日数298日、利用者数延べ109名、活動ケアワーカー数延べ178名、訪問件数816件、活動時間1,540.5時間、研修回数7回、苦情件数8件

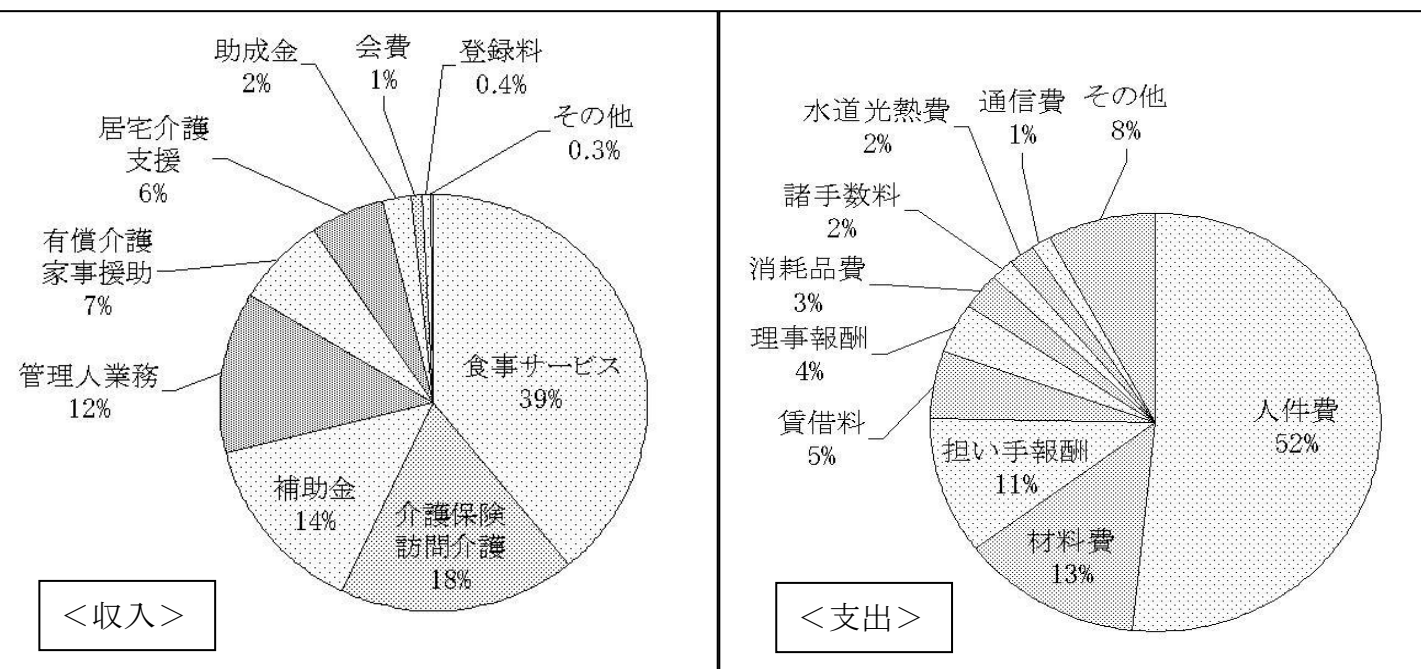
介護保険・訪問介護サービス部（ケアサービスまごころ） ○内部研修および八王子市、東京都社会福祉協議会、八王子市市民活動協議会、全国社会福祉協議会等の外部研修に積極的に参加しました。○八王子医師会明神町訪問看護ステーションの雨宮貴代子看護師に講師を依頼して「介護職のための医療的行為」について講習会を開くなど、内部研修に力を入れました。
<活動実績> 活動日数310日、利用者数264名、ヘルパー数196名、活動時間2,117時間

介護保険・居宅介護支援事業部（ケアプランまごころ） ○介護保険居宅介護支援事業部は介護保険法令の趣旨に従い、利用者の自立支援、公正中立な立場を堅持し地域包括支援センター、八王子市指定居宅介護支援事業者連絡会、保健医療との連携、研修への参加を積極的に努め、利用者訪問や、相談・援助・連絡調整における電話対応等は解りやすい表現や丁寧な対応を心掛け、制度やサービス利用に関して理解が得られるよう努めてきました。
<活動実績> 相談受付件数39件、更新手続き15件、区分変更1件

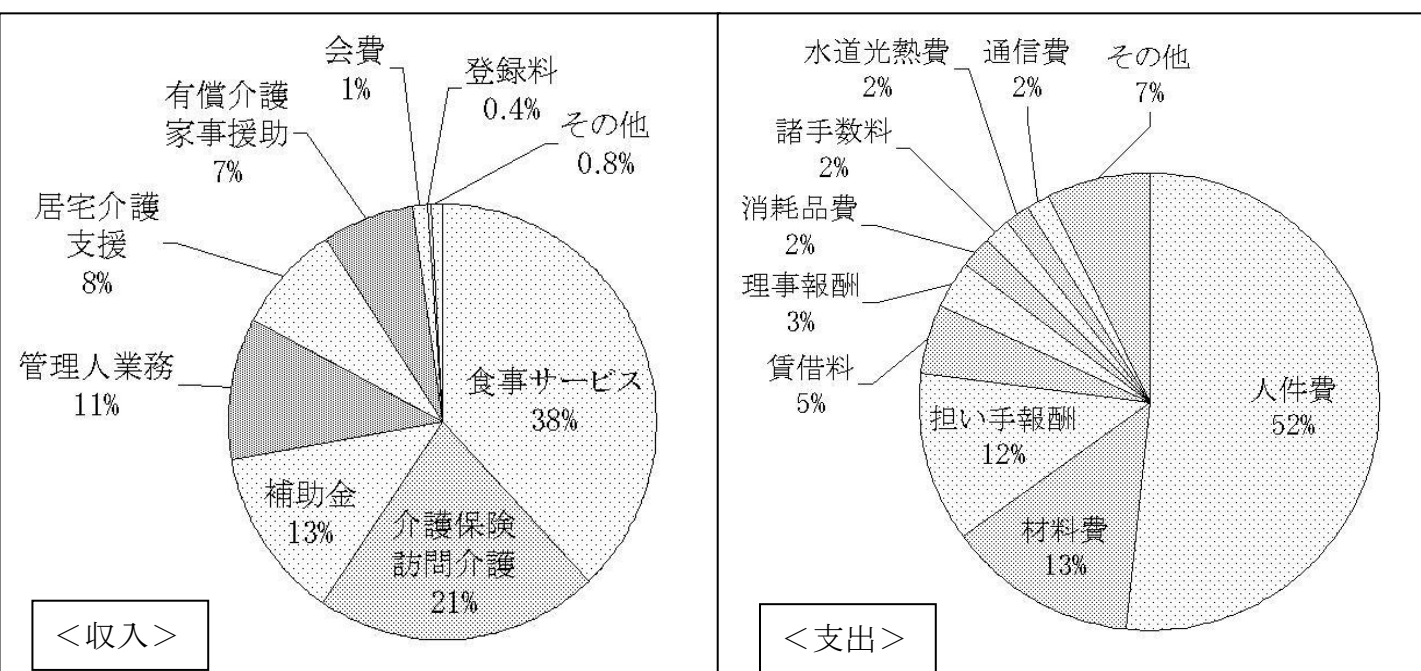
食事サービス部（さくらんぼ食事サービス） ○活動開始から今年で17年、安否確認と低栄養予防を活動の基本として配食サービスを行なってきました。○利用者の方へのサービスを第一と考え、献立の工夫や配達日を増やす等の努力をしてきました。○レシピや調理方法を見直し、配達経路をチェックし、無駄のない配食をしました。○ディサービスの事業所に営業活動を行ないました。土曜日の夕食を開始しました。○祝日の配達地域を拡大しました。○緊急時対応マニュアルを作成しました。○全国老人給食協力会と東京食事サービス連絡会との情報交換を行ないました。○市役所高齢者支援課、地域包括支援センターと連携し、情報の共有を図りました。○シフトを見直し、人件費の削減に努めました。
<活動実績> 活動日数306日、スタッフ数19名、活動延べ人数1,652人、活動1日当たり平均スタッフ数5.4人、利用登録者132名、配食数21,913食

管理部（センチ富士森管理人業務） ○お花見会、春のお食事会、ミュージックベル演奏会、センチ祭、秋のお食事会、作品展、クリスマス会、鏡開きなどの各種行事を通して、入居者間および入居者とスタッフとの良好なコミュニケーションを図ることができました。○当会が主催していた「火曜の会」と「喫茶の日」が平成21年度で終了となったことに伴い、これらの会を引き継いで4月から自主サークルとして発足させた「川柳の会」「映画鑑賞会」「手芸の会」及び「お料理の会」の開催を支援し、定着させることができました。○入居者に対する広報活動としての「季刊紙センチ」を、昨年度に引続き7月、10月、1月および4月の4回発行し、タイミングを逃すことなく入居者に対する情報伝達を行うことができました。

平成22年度決算 収入合計 35,226,995円 支出合計 37,957,521円 当期損失 2,730,526円



平成23年度予算 総額 39,286,000円



注：上記の数字は四捨五入していますので、合計は100%になりません。